

# がん薬物療法による皮膚障害

がん薬物療法の副作用のひとつである皮膚障害は、抗がん薬のなかでも特に分子標的薬に多くみられます。この副作用は軽度なものでも患者さんの生活の質を損なう恐れがありますし、また重篤な皮膚症状になると治療を一時中断・中止することになりますので、適切な予防および治療が必要になります。

今回のセミナーでは、がん薬物療法においてマネージメントが問題となる皮膚障害について、皮膚障害が発生するメカニズムや皮膚障害へのアプローチ、ケアの方法について、専門のスタッフが解説します。

## － プログラム －

### ■はじめに

成人病センター副院長(兼化学療法部長)鈴木 孝世

### ■講演①「皮膚障害に対する問題点」

成人病センター外科 医員 中川 淳

### ■講演②「副作用のメカニズム」

成人病センター薬剤部 主任技師 山田 智晴

### ■講演③「皮膚障害への治療戦略」

成人病センター皮膚科 科長 服部 ゆかり

### ■講演④「ケアの実際」

成人病センター看護部 主任看護師 原田 美紀  
(皮膚・排泄ケア認定看護師)

### ■質疑応答

【司会進行】成人病センター看護部 副部長 吉田 智美



2013年 1 月 31 日(木) 18:00～19:30

- 会 場：滋賀県立成人病センター 研究所講堂  
【住所】守山市守山5-4-30  
【交通】JR守山駅からバス約10分
- 対象者：医療従事者・医療関係者
- 定 員：150名(当日先着順)
- 申込不要・参加費無料・駐車場無料(受付で無料化します)



主催：滋賀県立成人病センター / 共催：滋賀県薬剤師会